

【市町村概要】

自治体名:岡山県美作市
人口:25,235人(R6/4月)
世帯数:12,261世帯(R6/4月)
高齢化率:41.8%
面積:429.29km²

【事業に取り組んだ背景・課題・理念】

平成22年から総合相談係を直営で設置し、包括的支援体制をいち早く構築していたが、業務が属人化し職員の人事異動が支援に影響するようになる。

支援を継続するために人事異動の少ない地域福祉の専門職集団である社会福祉協議会に全事業を委託。さらに中学校圏域単位の設置した「社協地域ステーション」のコミュニティーソーシャルワーカー(CSW)等に多機関協働の司令塔の役割を付与。ワンチームでの支援を実施し支援の効率化を図る。

地域づくりは、介護保険の地域ケア会議を活用し、地域住民との連携を強化。

美作市重層事業の特徴

- ・(重層的)支援会議を個別ケースに特化
- ・地域づくりは包括ケア会議のしくみを活用
- ・全事業を社協に委託し業務を効率化
- ・中学校圏域のCSWが会議の司令塔
- ・園小中学校の問題を積極的に支援

【主な取り組み内容】

(包括的相談支援事業)

中学校圏域に「社協地域ステーション」を5か所と本所機能である「総合相談支援センター」を1か所、断らない相談支援窓口として設置。

(参加支援事業)

ひきこもり相談窓口の機能を「総合相談支援センター」に設置し社会につなげる支援を実施。また中間就労や居場所など、市内の社会資源の開発も実施。

(地域づくり事業)

市内既存団体の社会資源に対する協力の呼びかけや、社会資源自体の発掘を実施。住民が主体的に地域課題を把握し解決を試みる働きかけを、介護保険の地域ケア会議を活用し住民に周知、課題の吸い上げを行う。また、同時に福祉教育の実施や地域づくりの普及啓発を行い、地域力の底上げを図る。

(アウトリーチを通じた継続的支援事業)

「社協地域ステーション」のCSWが、民児協や、地区ケア会議の場に出向き、潜在的なケースの把握に努めるとともに信頼関係を構築し参加支援事業等につなげる。

(多機関協働事業)

「社協地域ステーション」のCSWや「総合相談支援センター」の包括化推進員が複層的な問題を抱えたケースに関わる多機関の司令塔の役割を担い、(重層的)支援会議を開催しワンチームでの支援を実施。支援の効率化を図る。